

五中進路だより

吹田市立第五中学校
No.2 令和6年7月9日
(2024年)

三者懇談が 始まります！

進路説明会や進路学活が行われましたが、入試の仕組みについてちゃんと理解できましたか。私学と違い公立は1、2年生の評定も受験の際、合否判定に使われず。分かりにくかった内容は、担任の先生や、学年の先生に気軽に聞いてくださいね。いよいよ始まる三者懇談では進路の話が中心となります。まだ志望校が決まらない人が多いと思いますが、2学期に向けてどんな生活を送るのか、保護者や先生に意思表示できるように心づもりしておいてください。

今回の進路だよりは、2学期、3学期の具体的な進路決定に向けて、簡単に高校の設置者や、公立高等学校にはどのような種類や系統があるのかを載せます。自分に合ったスタイルを見つけて、今後の進路決定の参考にしてください。

高校の種類

- 国立：国立大学の付属となっているものが多く、小中学校がある高校の募集人員に制約がある。
- 公立：都道府県や市などの地方行政機関が設置する高等学校。普通科や各種学科の学校がある。
- 私立：個人または団体が学校法人組織で設立、運営している学校。独自の建学の精神で教育が行われる。国公立より学費が高いのが一般的。また、大学付属の学校もある。



学ぶ時間帯は？

- 全日制
原則として日中に授業を行う。
1日6時間が標準。(3年で卒業)
- 定時制(多部制単位制含む)
夜間その他特定の時間・時期に学習を行う。
1日4時間が標準。(4年で卒業)
※通信制の利用などで、3年で卒業できる場合もあり。
- 通信制
レポート内容を学習、レポート作成、添削指導、試験、スクーリングなどによって、単位を取得し、卒業要件を満たして卒業。(連日登校するタイプの学校もあります)



高校の進級・卒業は？

○学年制

学年ごとに必要な出席時数と単位を修得しないと進級できない。
学年の区切りの中で、学年ごとに修得すべき単位が決まっている。
必要な出席時数が足りなかったり、テストの点数などが足りず、単位を修得できなければ留年することになる。
メリット：バランスよく学習でき、コツコツ頑張って卒業までたどり着ける。
デメリット：毎年単位のハードルを越えていかなければならない。

○単位制

各学校で決められた必要な単位を修得すれば卒業できる。
「学年」という概念が無い。卒業までに必要な単位を修得すれば卒業できる。
3年間で必要な単位を修得できなければ留年することになる。
メリット：ある程度、自由に時間割を組むことができる。
デメリット：初めのうちに単位をたくさん取得しておかないと、後で苦しい思いをする。



単位って？

簡単に言ってしまうと、教科ごとの努力の証です。
高校ではそれぞれの教科で、定められた授業時数以上受けて、なおかつ定期テストで一定の基準点(赤点)を超えている場合に、1単位を獲得できます。
この単位数の合計で進級や卒業が決まります。

学科の違い

- 普通科(春日丘、北千里、山田、吹田東、茨木西、吹田など)
一般的学習である普通教育を主とする学科で、国語、地歴、公民、数学、理科、保健、芸術、外国語、家庭、情報などの普通教育に関する教科、科目を中心として学習するコース。
- 専門学科(北野、茨木、箕面、千里、摂津、夕陽丘、園芸など)
農業・工業・商業・水産などを専門的に学ぶ学科、英語・国際・音楽・美術・体育など普通教育のうち、いずれかを専門的に学ぶ学科、難関国公立大学合格を目標に学習カリキュラムが設定された学科(文理学科)があります。
- 総合学科(千里青雲、柴島、福井など)
一般的学習である普通教育と、専門的学習である専門教育を総合的に施す学科のことで、自分の興味・関心と将来の職業に結びつく科目を選択して学習する。各教科・科目は選択履修とされ、原則として単位制。

以上ざっくりと説明しましたが、どうでしたか。①進路調査では多くの人が公立受験を望んでいました。私学にはここに記載していない色々なコースや制度があります。自分で調べて興味のある学校を1つでも見つけるようにしましょう。②何かわからないことがあったら、担任の先生や、相談しやすい先生にどんどん質問に来てください。③また、他府県受験やクラブ関係の推薦入試を考えている人は、他の人より早い時期に準備しないといけない場合があります。④特に家庭の事情で、他府県公立の受験の可能性が少しでもあるときは、すぐに担任の先生に連絡するようにしてください。

不安に思っていることは
先生に相談しよう！

～今後の予定～

- 7月10日(水)～18日(木)個人懇談(三者)
- 7月19日(金)終業式
- 8月26日(月)始業式・実力テスト(2科) 27日(火)実力テスト(3科)

